令和6年度 第13回

青梅市教育委員会臨時会会議録

日 時 令和7年2月19日（水）午後1時30分
場 所 青梅市役所3階教育委員会会議室

第13回青梅市教育委員会（臨時会）議事日程

会 期 令和7年2月19日（水）1日間
場 所 青梅市役所3階教育委員会会議室
日 程

- 1 教育長開会および開議宣言
- 2 会議録署名委員の指名
- 3 教育長報告事項
- 4 協議事項
- 5 議案審議
議案第28号 令和7年度青梅市教育委員会の基本方針について
議案第29号 青梅市教育委員会事案決定規程の一部改正について
議案第30号 青梅市体育施設条例の一部を改正する条例の一部の施行期日を定める規則について
議案第31号 青梅市スポーツ施設条例施行規則の一部を改正する規則について
- 6 教育長閉議および閉会宣言

教育長報告事項（再掲）

- 1 令和6年度教育費補正予算について（学校教育部・生涯学習部）
- 2 令和7年度教育費当初予算について（学校教育部・生涯学習部）
- 3 青梅市立学校施設のあり方審議会からの中間報告について（教育総務課）
- 4 成木小学校通学用バスの空席の活用状況について（学務課）
- 5 青梅市指定管理者選定委員会の協議結果について（文化課）
- 6 沢井市民センタープールの休場について（スポーツ推進課）
- 7 諸報告
 - (1) 委員会等会議録
 - ア 青梅市社会教育委員会会議録（社会教育課）
 - イ 青梅市スポーツ振興審議会会議録（スポーツ推進課）
 - (2) 事業等の実施予定について
生涯学習事業実施予定について（社会教育課・文化課）
 - (3) 事業等の実施結果について
生涯学習事業実施結果について（社会教育課・文化課・スポーツ推進課）

協議事項（再掲）

- 1 令和7年度青梅市教育委員会の教育目標および基本方針（案）について（学校教育部・生涯学習部）

- 2 青梅市教育委員会事案決定規程の一部改正について（教育総務課）
- 3 青梅市体育施設条例の一部を改正する条例の一部の施行期日を定める規則について（スポーツ推進課）
- 4 青梅市スポーツ施設条例施行規則の一部を改正する規則について（スポーツ推進課）
- 5 青梅市教育委員会附属機関の委員等に対する感謝状被贈呈者の決定について（スポーツ推進課）

出席委員	教 育 長	橋 本 雅 幸
	教育委員会委員	百 合 陽 子
	教育委員会委員	杉 本 洋
	教育委員会委員	徳 長 邦 彦
	教育委員会委員	原 島 敦 子

出席説明員	学 校 教 育 部 長	谷 合 一 秀
	生 涯 学 習 部 長	森 田 利 寿
	教 育 総 務 課 長	芥 川 純 一 郎
	学 務 課 長	山 田 浩 之
	指 導 室 長	拝 原 茂 行
	教育指導担当主幹	鈴 木 章 郎
	学校給食センター所長	榎 戸 智
	社 会 教 育 課 長	平 岡 正 海
	文 化 課 長	北 村 和 寛
	美 術 担 当 主 幹	田 島 奈 都 子
	ス ポ ー ツ 推 進 課 長	中 村 栄 之
	文化複合施設等整備担当主幹	森 田 和 洋

書 記	教育総務課庶務係長	板 垣 良 平
	教育総務課庶務係	渡 邊 雅 哉

午後1時30分 開会

日程第1 教育長開会および開議宣言

【教育長（橋本）】 本日の臨時会には、教育長および委員4名が出席しておりますので、本会議は成立いたしました。

これより令和6年度第13回青梅市教育委員会臨時会を開会いたします。

本日の会議を開きます。

日程第2 会議録署名委員の指名

【教育長（橋本）】 初めに、日程第2、会議録署名委員の指名を行います。

本日の会議録の署名委員には杉本委員を指名いたします。

次に、令和7年1月8日開催、令和6年度第11回定例会の会議録につきましては、前回の定例会でお配りし、それぞれ御覧をいただきますので、よろしければこの場で御承認をいただきたいと存じますが、これに御異議ございませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

【教育長（橋本）】 御異議ないようですので、令和6年度第11回の定例会会議録につきましては、御承認をいただきました。

日程第3 教育長報告事項

【教育長（橋本）】 それでは、日程第3、教育長報告事項に移ります。

初めに、委員の皆様から御報告を頂戴したいと存じます。

今回、百合委員からお願いをいたします。

【委員（百合）】 私は、中学校の技術家庭科の作品展に中央図書館行ってきました。毎年生徒が丁寧に仕上げた作品を見るのが楽しみで、今回も立派な作品が、いつも狭い場所だと思うのですけれども、いろいろ工夫されて、見やすく展示されていたと思います。

作品の内容も、生徒がしっかり調べて、自分の知識となるような作品であったり、持ち帰ればすぐにでもお家で役立つような実用的な作品などいろいろあって、持ち帰れば御家族も喜ぶのではないかなと思うものばかりでした。

自分のお子さんの作品見ながら、よくできたねって褒めている方もいらっしゃいましたし、小学生の御家族が隣にいたのですが、あなたも中学生になったらこんなことができるのかなとか、そういう話を家族でされているのも聞いていて微笑ましかったです。

もう一つは青梅マラソンなのですけれども、毎年、参加させていただいて、スターターのお仕事をさせていただいているのですけれども、やはりスタートを待つ子どもたちの緊張感のある顔を見ていると、私もどきどきして、元気をもらって帰れています。

今回は人数が多くて、多くの人数で走るとロードレースらしいなというのを感じました。

知り合いの方から、親子割があったから応募しましたという声も聞いたので、これも続けていただけるといいと思います。親は走れないけど、兄弟で走らせてやりたいから、もしよかったら兄弟割というのもあるとうれしいなという声もありました。

以上です。ありがとうございます。

【教育長（橋本）】 ありがとうございます。続きまして、杉本委員、お願いいたします。

【委員（杉本）】 15日開会式、16日の青梅マラソンに参加させていただきました。

高橋大輔さんの求人力なのか、人の集まり方が異常で、アイドルが来たという感じで、とにかく、たくさん人が集まって参加していただくということは、結果的に1万2,500人という人たちに参加していただくイベントになって、少子化で人が集まりにくくなった地方マラソンも多くなっている中で、これを維持していくというのは本当に大変だとは思いますが、今回はとてもいい結果が出たのではないかとこのように感じました。

「こどもまんなか」ということを謳っている青梅市ですので、青梅の子どもに対しては優遇しあげられるとか。当日もお話出ているのですが、親子割引以外にも兄弟割引だとか、何か青梅の子どもたちだけ特別に、青梅市在住で良かったというような印象がつけられるようなものがあったらいいかなと思いました。

宮ノ平駅で降りて歩いて帰るのですが、まだマラソンが続いていて、途中で離脱した人を收容するための空のバスがたくさん走っていたのですが、あれはどんな利用の仕方とか、どこから收容し始めるのか。神代橋で五、六台走っているのを見ていたのですが誰も乗ってなくて、どういうシステムになっているのかなと思って、その辺も御説明いただければと思います。よろしくお願いします。

以上です。

【スポーツ推進課長（中村）】 リタイアされた方の收容バスを各所に配置しております。一番奥の折り返し地点からゴール地点に向けて順次車両を回していくのですが、後を追う空のバスは、まだこれから乗る方のバスが後ろから待機しているというふうな形になってございます。なので、いっぱいになったら発進して、先にゴール地点に運んでいるというふうなところでございます。

【委員（杉本）】 分かりました。

【教育長（橋本）】 ありがとうございます。

続きまして、徳長委員、お願いいたします。

【委員（徳長）】 私もマラソン大会、開会式から参加させていただきました。

開会式、高橋大輔さんのトークも楽しくて、高橋尚子さんもおしゃべりが上手なので、本当にあっという間に時間が過ぎてしまったのですが、受付に来た人がそのままいてくださるということで、もっと盛大になってくるといいなと思いました。

また、第三中学校の生徒が演奏しているのですが、なかなか見えないのです。来賓がその中を、立って入ってきて、第三中学校の子どもたちが演奏している姿見えないので。前にスペース

があるので、そこで演奏してもらえると、いろんな方が聞けるのかなと。音も正面から聞けるし、いいのかなという気がしました。

日本航空学園の子どもたちのパフォーマンスもすばらしくて、以前にも見たこともあるのですが、いろんな方が来たときにインパクトが強くて、開会式にもいい花を添えたのかなと思いました。

小学校、中学校のマラソンですけども、昔に比べたらまだまだ少ないのかなという気がしたのと、杉本委員もおっしゃいましたけども、「こどもまんなか」と謳っているのだったら、子どもは無料にしてもという思いもあります。

ただ、無料にしてしまうと、申し込みだけして当日参加しない子がいるので、その辺を考慮すると有料でもいいのですが、もう少し安くしてもいいのかなという気がしました。せっかく「こどもまんなか」ということで立ち上げているので、子どもたちをもっと中心に考えてもいいのかなという気がしました。以上です。

【教育長（橋本）】 ありがとうございます。原島委員、お願いいたします。

【委員（原島）】 私も青梅マラソンのことについてなのですが、青梅市出身ではないので、初めて青梅市に引っ越してくるときに思い浮かんだのが青梅マラソンだったことを思い出しました。子どものときに何となくテレビで見たことがある程度だったのですが、第57回大会ということで伝統ですとか、継続することの意味を今回改めて感じました。

昨年はPTAのボランティアとして、バーミヤンのところで、児童・生徒の方々の誘導をさせていただいたのですが、また違う目線で今回見させてもらう中で、伝統だからこそ仕組み化されていて、ボランティアスタッフを誰がやっても分かりやすさみたいなどころがあり、ボランティアが落ち着いていることによって選手たちも改めて安心して走ることができる、そういう場面をたくさん見かけられるので、引き続き、本当に運営側の方々とても大変だと思うのですが、安心できる場所づくりというところを念頭に置いてもらえたらというのを感じました。

【教育長（橋本）】 ありがとうございます。

青梅マラソンですが、委員の皆様にも御協力をいただきありがとうございます。開会式のお話もございましたが、第三中学校と日本航空学園の生徒・学生が、本当に素晴らしい演奏をさせていただいて、同日に、ネッツたまぐーセンターでは、日本航空学園の吹奏楽と青少年吹奏楽団がコラボで演奏会を行いました。ネッツたまぐーセンターの1階ホールに人が入り切れずに、立ち見が出るほどの人気で、こちらも非常に分かりやすい音楽を聞かせていただいたようでございます。御報告申し上げます。

少し日付が戻りますけども、1月25日土曜日に稲城市で地域教育フォーラムというのがあって、参加してまいりました。地域の活動報告や専門家による講演会などで、非常にいい会だったというふうに思っております。青梅市でもそんな講演会をできないかなと思ったところでございます。

それから、後ほど報告がございますが、1月29日には学校施設のあり方審議会の第9回が終わりました。教育委員会といたしましても、これまでの定例会で、小中一貫教育などについて御議

論をいただいておりますけれども、あり方審議会に先行した議論も必要になってくる場合がございますので、引き続き御協力のほどよろしくお願い申し上げます。

それと、昨日から市議会が始まりました。市長の施政方針が終わりまして、一般質問の提出がこれからありますので、一生懸命対応したいと思います。

それから、青梅市の2月1日の人口が、12万9,000人を切ってしまいました。12万8,919人ということになってございます。ただ、今、移住定住促進策を進めておりますので、減少率は少し減ってきていると。転入が転出を少し上回るような実績もあるようですので、減少はしますけれども、鈍化しているのではないかというようなことでございますので、御承知おきだけお願いしたいと存じます。

私からは以上でございます。

それでは、教育長報告事項を順次、御報告をさせていただきます。

1 令和6年度教育費補正予算について（学校教育部・生涯学習部）

【教育長（橋本）】 初めに、教育長報告事項の1、令和6年度教育費補正予算について説明いたします。

【学校教育部長（谷合）】 それでは、お手元の報告資料1を御覧ください。

2月定例議会に提出しております補正予算（第7号）について御説明いたします。

なお、補正予算につきましては、議決前でありますので、お取扱いには御配慮いただきますようお願いいたします。

まず、教育費の補正額の総計は、款10教育費の欄の補正額の欄に記載のとおり10億9,500万円余であり、補正後の教育費の総額は74億8,900万円余となります。

補正額が10億円を超える大きな要因といたしましては、小学校費、中学校費において令和7年度に実施する各学校施設の工事費について、国の補助金の前倒し申請に伴い、小・中学校費合わせて13億8,600万円余を計上したことによるものであります。

なお、説明欄に補正の内容についてそれぞれ記載しておりますが、主な内容につきましては、2ページの表で説明させていただきます。2ページを御覧ください。

初めに学校教育部関係について、表の区分ごとに御説明いたします。

まず、表の区分の上段、学校施設のあり方審議会経費であります。1,300万円余の減額であります。これは、右側の補正額の内訳・説明欄に記載のとおり、学校施設個別計画策定支援委託料の減額であります。

本件につきましては当初2年間の委託を予定しておりましたが、契約不調となったことから、予定していた内容のうち、児童・生徒数の推計およびアンケート調査を別途単年度で実施するとともに、個別計画の策定作業につきましては、審議会での審議が延長されたことに伴い、答申後に改めて実施することとし、その差額を減額するものであります。

次の教育情報システム経費であります。1,100万円の減額であります。こちらは、今年度、

教員用の端末約1,000台を更新しましたが、その契約差金について減額するものであります。

次に、新学校給食センター建設経費1億3,100万円余の減額であります。これは、新学校給食センター建設工事等の契約差金について減額するものであります。

次に、小学校の学校施設整備経費6億6,100万円余の増額と、その下、中学校学校施設整備経費7億2,400万円の増額であります。こちらは、令和7年度に予定しております、説明欄に記載の外壁等改修工事等の各工事について今年度の国の補正予算による補助事業にて内示を受けましたことから、前倒して計上し、工事は令和7年度に実施するものであります。

続きまして、表の下段にあります財源更正についてであります。

生涯学習部関係を含めまして、ふるさと納税等による指定寄付、都の補助金がありましたことから、各経費それぞれで財源を更正するものであります。

学校教育部関係につきましては以上であります。

続きまして、生涯学習部関係について、生涯学習部長より説明いたします。

【生涯学習部長（森田）】 続きまして、生涯学習部関係の補正予算を説明させていただきます。説明資料2ページを御覧ください。

表の教育費の中段、埋蔵文化財調査保護経費は、発掘調査委託料について、今年度の予定を7年度に実施することになった調査箇所が発生したため、1,153万円余を減額するものでございます。

次にその下、新図書施設建設経費は、年度内に設計業務に取りかかることができなかつたため、設計委託料700万円余を減額するものでございます。

次にその下、文化複合施設等整備経費は、健康センター、こども家庭センター、旧教育センター、福祉センターの建物部分の土壌調査を行うことが今年度できなかつたため、設計委託料1,726万円余を減額するものであります。

次にその下、13諸支出金、芸術文化奨励基金経費は基金預金利子4,000円を、スポーツ振興基金経費につきましては、基金預金利子とスポーツ振興に関する事業として、指定寄付金等を基金に375万円余をそれぞれ積み立てるものでございます。

その下は、先ほど学校教育部長が説明いたしましたとおり、財源更正が記載されているところでございます。

以上で、令和6年度教育費の補正予算（第7号）についての御報告をさせていただきます。

【教育長（橋本）】 説明終わりました。御質疑等ございましたらお願いいたします。よろしいでしょうか。

2 令和7年度教育費当初予算について（学校教育部・生涯学習部）

【教育長（橋本）】 それでは次に、教育長報告事項の2、令和7年度教育費当初予算について説明をいたします。

【学校教育部長（谷合）】 それでは報告資料2、令和7年度教育費当初予算について御説明い

たします。

なお、この件につきましても、議決前でありますことから、取扱いには御配慮いただきますようお願いいたします。

報告資料の2の1ページを御覧ください。

初めに歳入であります。

表の一番左側、項目ごとに分けて、国庫支出金、都支出金、都委託金、その他の順に記載しております。その右側には、担当課、各課の事業名を記載し、令和7年度と令和6年度予算額および増減額を記載しております。

初めに教育費に関する歳入の合計であります。表上段、太字で記載のとおり、令和7年度は9億6,900万円余を見込んでおります。令和6年度と比較いたしますと、1億3,500万円余の増額となっております。

個別の説明は省略させていただきますが、全体として、増額となった主な要因といたしましては、新学校給食センター建設に係る国の学校施設環境改善交付金の皆増、また、給食費補助に係る都の公立学校給食費負担軽減事業補助金の皆増などによるものであります。

次に、資料の2ページを御覧ください。

こちらは歳出であります。

表の左側上段に教育費予算全体の令和7年度と令和6年度の予算額および増減額を記載しており、表の右側には各課の主な施策と事業を記載しております。

表の左の上段の令和7年度の教育費予算であります。全体で70億8,100万円余、令和6年度と比較いたしますと7億9,100万円余の増額となっております。

次に、学校教育関係について、主な事業について御説明いたします。

表の中央、事業別の欄から順次、右の増減、説明欄を御覧いただければと存じます。

まず、05教育情報システム経費であります。令和2年度に配置した児童・生徒用端末の更新などにより、2億5,500万円余の増となっております。

その下、06給食センター経費であります。新規事業の給食費相当給付金、これはアレルギーや病気等で給食を喫食できない児童・生徒への給付を新たに開始するものであり、これを含めて4,800万円余の増となっております。

その下、07新学校給食センター建設経費であります。建設工事等、3か年工事の2年目となりまして、5億1,900万円余の増であります。

次に、11学校管理経費であります。全体的には光熱水費などの減により2,400万円余の減となっております。説明欄の夏季水泳授業における民間プールの活用につきましては、来年度から新たに友田小学校でも開始する予定であります。

その下の12と15の小学校、中学校の学校施設整備経費であります。説明欄の設計委託は令和7年度予算で実施しますが、先ほどの補正予算でも御説明のとおり、外壁等改修工事など※印のついている各工事につきましては、令和6年度補正予算を繰り越して実施するため、当初予算額

には含まれておりません。設計等の委託やその他の整備工事費などで、小学校は2,600万円余の減、中学校は1億円余の減となっております。

以上で学校教育部の説明を終わらせていただき、続きまして、17番以降の生涯学習部関係について、生涯学習部長より説明いたします。

【生涯学習部長（森田）】 続きまして、生涯学習部関係であります。

歳入につきましては、ただいま学校教育部長から説明がありましたとおりでございますので、歳出から御説明をさせていただきます。

学校教育部長の説明と同様に、御覧をいただければと存じます。

まず初めに2ページ中段から下、19美術館施設整備経費であります。空調、エレベーターおよび照明等の改修工事の2年目に当たり、3億720万円余の増となっております。

次に、22文化複合施設等整備経費であります。今年度取り組んでいる東青梅1丁目地内諸事業用地等整備基本計画の策定について、新年度においても引き続き取り組むことから、策定経費を計上しております。当初予算はこの経費のみであることから、5,839万円余の減となっております。

次に、25青梅エクストリームスポーツパーク管理経費は、新年度からの新しい予算として、オープニングセレモニー等の実施委託や管理運営委託を含め2,131万円余であります。

最後になりますが、26総合体育館整備経費は、2か年にわたる総合体育館内のLED化等の改修工事の1年目であり、これを含めて6,438万円余の増でございます。

以上、大変雑駁ではございますが、令和7年度教育費当初予算についての説明とさせていただきます。

【教育長（橋本）】 説明終わりました。御質疑等ございましたら、お願いいたします。よろしいでしょうか。

給食センターや美術館等の改修工事もあって、70億円という予算になっていますので、先ほど歳入が10億弱ですので、60億以上は市の一般財源ということになります。有効に活用して、令和7年度運営してまいりたいと思いますので、よろしくお願いたします。

3 青梅市立学校施設のあり方審議会からの中間報告について（教育総務課）

【教育長（橋本）】 それでは次に、教育長報告事項の3、青梅市立学校施設のあり方審議会からの中間報告について説明をいたします。

【教育総務課長（芥川）】 それでは、冒頭で教育長からもお話のありました報告事項の3、青梅市立学校施設のあり方審議会からの中間報告について御説明をいたします。

報告資料の3、青梅市の地域性および特性に即した学校施設のあり方について（中間報告）を御覧いただければと存じます。

こちらにつきましては、2月14日に審議会から教育委員会に報告されました中間報告となります。これまで議事録等にて審議内容は御確認いただいているとは存じますが、この2か年の結果

として審議会から中間報告をいただきましたので、この場にて御報告させていただきます。

初めに、2ページ目の目次を御覧ください。

本報告書は大きく6つの構成となっております。

まず、序章として、審議会の目的や位置付け、諮問、前提条件等を記載してございます。

次の第1章では児童・生徒数の現状、学校施設の老朽化状況の現状、第2章では児童・生徒数の将来推計およびアンケート調査の内容、第3章では審議会にて協議、検討を行った点、第4章では次年度以降の審議について、最後に、第5章では審議会における委員からの意見の概要を項目ごとにまとめて記載してございます。

続いて、4ページを御覧ください。

I 審議会の目的、位置付け等については、審議会条例にもとづき記載をしてございます。

その下、II 諮問についてでございますが、こちらは昨年2月の定例会にて御協議いただいた諮問の内容が記載をされてございます。

次のページを御覧ください。

3の答申時期につきましては、今年1月の定例会にて御協議いただき、令和9年3月31日までの延長について記載をされております。

続いてその下、III 前提条件であります。

こちらの表には、上位計画や関連する各種計画等の名称とその内容として、児童・生徒数の減少に対応した規制廃止等の方向性について、それぞれで次のページまで記載をされております。

続いて、6ページ下段のIV 審議経過でございますが、まずはこの審議会の発足、文部科学省による基調講演等から始まり、第3回の審議会にて答申時期を令和7年3月31日とする諮問により、調査・審議が開始をされております。その後、本年度では、児童・生徒の将来推計値や学校施設の老朽化状況、またアンケート調査の実施や審議会として先進他市の視察等を行い、慎重な調査・審議が実施されてきました。

結果としては答申には至らず、審議の内容を深めるため、先ほども触れさせていただきましたが、審議会からの申入れにより、答申時期を令和9年3月31日まで延長しました。これにより、今期の審議会では中間報告を行うとされたところでございます。

次の7ページから、16ページまででございますが、青梅市の現状や児童・生徒数の将来推計、アンケート調査など、調査・審議の土台となる基礎資料がそれぞれ記載をされてございます。

なお、14ページから15ページにかけての児童・生徒数の将来推計につきましては、同じ内容を昨年10月開催の教育委員会にて御報告をさせていただいてございます。

続いて、17ページを御覧ください。

第3章として、協議、検討を行った点について記載されております。

まず、I 学校規模については、国の示す基準や市の方針を踏まえて各学校長への調査が行われるなど、適正な学校規模、学級数について御議論をいただいております。

次に、19ページを御覧ください。

Ⅱ小中一貫教育についてでございます。

表に示すとおり、小中一貫教育および施設の体系について確認し、下段の1にございますように、先進事例である飯能市の学校を視察し、開校の際の教育、地域、統合、施設などについての認識を深めたところであります。

審議会からの直接的な意見については、第5章にまとめておりますが、この項目について、小中一貫教育の教育委員会としての方向性を示してもらいたいとの意見をいただいたことから、昨年10月の定例会では、青梅市における小中一貫教育の推進についてとして御報告、御協議をいただき、青梅市における小中一貫校の方向性について御決定をいただいたところでございます。

なお、この決定内容につきましては、次期審議会における議論の土台として、改めて説明する予定でございます。

次に、資料の20ページを御覧ください。

Ⅲ学校施設の維持管理経費等についてですが、表にあります経年の維持管理経費および次の21ページ、学校施設において特別な機能であるプール施設についても御議論をいただいたところでございます。

続いて、22ページになります。

これらの調査・審議を踏まえまして、第4章として、次年度以降の審議について記載をしております。こちらにつきましても、昨年11月の定例会にて御報告をさせていただいた内容と同様でございます。

I前提条件（方向性）では、第3章の内容にて議論を深めた結果、教育的観点から、子どもたちのことを第一に考え、総合管理計画等の各種計画が学校の再編において大前提であるとの一定の理解の下、次期の審議会では地域固有の意見等を集約し、答申に向けた調整を行うこととされております。

その下、Ⅱ地区割りにつきましては、1の考え方とおり、既存の中学校区を基本とし、2に記載の表のとおり、市内を6地区に分けた地区割りとなっております。

続いて、23ページを御覧ください。

中段のⅢ次年度以降の流れについてであります。

1、部会の設置については、審議会設置当初は、地域の意見を十分に聴取するため、地域ごとに審議会条例における部会を設置する予定としてございました。しかしながら、具体的な審議を進める中で様々な課題が明らかとなり、公平・公正な意見聴取を行うため部会は設置せず、事務局が各地域の意見を聴取することとなっております。

また、聴取の方法としては、6つに分けた地区ごとに、該当する小・中学校の学校運営協議会委員を一堂に会して行うこととして、審議会で決定をしております。

下段の2は、その流れを箇条書きにしたものとなります。

次のページ、(1)では、各地区にお示しする再編案は一つに絞らず、複数案を審議会にて審議し提示すること。

(2)地域からの意見聴取は、各地区の学校運営協議会に対し事務局が行うこと。

(3)意見集約については、各地区から出された課題等について、市全体を総括して審議会が協議すること。また、審議会が示した再編案以外の案が地区から出された場合には、必要に応じて、再度審議会にて協議をすること。

(4)答申についての協議は、全ての地区からの意見を審議会において十分に審議し、再編案について付帯事項として答申とすること。

以上の流れで調査・審議を進めていくことを審議会において計画をしてございます。

25ページを御覧ください。

第5章として、審議会委員からの意見等の概要を項目ごとにまとめ、27ページからは、資料編として、条例の全文、審議会委員名簿、審議会の開催状況等が記載してございます。

最後になりますが、32ページの下段、V参考資料ですが、資料名の後に、括弧書きで審議会における開催回数、資料番号を記載しておりますので、ホームページ、記事ID70177にて御覧いただければと存じます。

この中間報告の内容を踏まえ、次期審議会において、地区ごとに、より具体的な再編案を調査・審議していくこととなります。

今後も審議の内容等については、逐次御報告をさせていただきます。

また、説明の中にも入れさせていただいたとおり、今年度、審議会から依頼のあった小中一貫教育の方向性について御協議いただきましたが、ほかにも教育委員会として検討・協議などを行うことも出てくるのが想定をされます。次期審議会の調査・審議がより充実したものとなるよう、審議会には十分な支援等をしてまいりたいと考えております。

以上、大変雑駁ではございますが、青梅市立学校施設のあり方審議会からの中間報告とさせていただきます。

【教育長（橋本）】 説明が終わりました。御質疑、後意見等ございましたらお願いいたします。

【委員（徳長）】 施設の維持とかの中でプールの関係があったと思うのですが、現場にいた者として、プールサイドが傷んでしまったりとか、プールの中も傷んでしまったりすることがあります。

民間委託、民間水泳事業者の施設利用とあったのですが、青梅市ではセントラルスポーツだけです。東青梅にあったものもなくなってしまって、新町にあるだけ。新町も老朽化していて、これから先もあり続けるかは分からないと思います。

その辺を考えていくと、民間の水泳事業者を継続して利用するというのができるのかどうかというのが一つあります。来年度から友田小学校もやるのですよね。実際、そういう学校が増えていくと、継続してできるのかというのが一つに気になりました。

それから、プールの老朽化についても、どのようにやっていくのかなというのが一つあります。その辺のところも考えていかないと。

水泳指導というのはなかなか難しく、インストラクターが指導していくと、とてもよく指導

してくださる。実は、私も民間の水泳を指導した経験があるのですが、やっぱり学校の水泳って特別で、なかなかいい指導をできる先生がいないのです。体育の中で、サッカーだとかは割と自由にさせればいいのですが、水泳って基礎のところをしっかりやらないと泳げないというのがあって、そうすると特定の教員がずっとしなくてはいけないというのがありました。

将来的に水泳授業はどうなっていくのかなというのがあったのと、全然話は違うのですけれども、水泳に関しては、講師を水泳時間だけに特化してつけて、プールの管理とか指導をやっていくのも一つの手なのかなと。その人に任せて、指導案や計画も策定していくと、もっと先生方もやりやすくなってくる。

実際、結構年配の先生方が指導をしていて、水泳授業の時間、先生方がプールサイドで見ているだけというのも結構あるのです。若い人が1人入っていてやっているけれども、指導という面ではなかなかうまくいかないのです。その辺のところも、審議会での審議事項ではないかもしれないのですが、考えていかないと、なかなか水泳授業というのは難しくなっていくのかなという気がしました。感想ですけれども、読んでみて、そんなところを思いました。

【教育長（橋本）】 ありがとうございます。

【委員（杉本）】 14ページの児童数の将来推計とか生徒数の将来推計なのですが、審議会が9年まで延長されてということですが、例えば2024年から29年までの間、逆にこの9年間ではどれくらいの数字になっているのかとか、答申が最終的に行われるときには児童数がどうなっているのかが情報として欲しかったなというふうに思いました。

このスピードでいって、この人数の減りに間に合っていくのかな。答申だけを待って、それでまた始めてというと、一体、統廃合はいつ頃行う予定でこういう数字で来ているのかなということも教えていただきたいということと、あと、2034年から39年に変わるところ、これは児童数も生徒数ですが、少しプラスに転じているのです。どういう理由で生徒数と児童数が増えているのかも教えていただければと思います。よろしくお願いします。

【教育総務課長（芥川）】 将来推計でございますが、答申が令和9年3月31日までにされたのですが、基本的に審議会では将来の児童・生徒数を見据えた上での再編案ということで御審議いただくことになっておりますので、必ずしも令和9年度時点での人数が必要なのかなというところはございますけれども、審議会からの要望等あれば、教育委員会でも調査はしていきたいと思えます。

2034から2039で若干増えているということではありますが、こちらは、業者委託でコーホート要因法という手法で推計されて、青梅市で実施している子育て施策や移住定住施策等を勘案して推計した数値ですので、若干増えるということもあるというふうに聞いているところでございます。

【委員（杉本）】 具体的には分からないのですか、増える要因について。

【教育総務課長（芥川）】 個別具体的な要因については分かりませんが、市全体での様々な施策により転入者が若干増えるかもしれないとか、そういったことを考慮して算出しています。

【委員（杉本）】 年々減少傾向なのに、急にここの年から増加に転じているのでどうということかなと思って。それが分からなかったの。

もし、詳しく分かるようなことがあったら教えていただければと。よろしくお願いします。

【教育長（橋本）】 今、市が移住定住促進策を行っていますので、その辺のところは順調に進んだ場合、こういった年代に効果が出てくるというような部分もございまして、その辺も含んでいるとは思っています。

ほかにはいかがでしょうか。よろしいでしょうか。

いずれにしても、答申までには、また具体的な数値等も含めていろいろと変化してまいりますので、随時、御報告をさせていただきたいと思っております。引き続きよろしくお願いいたします。

4 成木小学校通学用バスの空席の活用状況について（学務課）

【教育長（橋本）】 それでは次に、教育長報告事項の4、成木小学校通学用バスの空席の活用状況について説明をいたします。

【学務課長（山田）】 それでは、報告事項4、成木小学校通学用バスの空席の活用状況について御報告申し上げます。

こちらの件に関しましては、昨年10月の令和6年度第8回教育委員会定例会におきまして、活用の開始について報告をさせていただいたものにつきまして、今回、本年度の活用状況をお知らせするものでございます。

初めに、1、経過であります。成木小学校通学用バスの運行に当たり、定員に対して一定の空席が見られたことから、空席を活用するため、成木小学校、第七中学校と協議を行い、昨年10月から第七中学校生徒が空席を利用する試験運行を実施しているものでございます。

次に、2、試験運行実施期間等についてであります。今年度につきましては、昨年の10月16日から今年3月19日まで、毎週2回、水曜日と木曜日、期間中の合計39日の運行で実施をしているところであります。

運行便数につきましては、各日1便、16時45分、17時、乗降場所につきましては、第七中学校前の都営バス停留所付近を乗車地点、第四小学校前の都営バス停留所付近の降車地点として設定してございます。

こちらにつきましては、裏面に参考としまして、地図の情報と写真を掲載させていただいております。

続きまして、お戻りいただき、便数の設定につきましては、成木小学校の運行時程で空席があり、かつ第七中学校生徒が利用可能な時間として便を設定しているところであります。

次に、3、運行実績についてであります。

昨年10月から本日の2月19日を含めまして、運行は34日、利用登録者数につきましては3人、延べ利用者数は14人でありました。

最後に、4、試験運行に関する主な意見等であります。

これまで運行上のトラブルは特にございませんでした。学校からは台風や降雪などによる運行中止や新年度当初の対応など、通年での試験運行が必要ではないかという声がありました。

また、利用者からは、便利で有効であるという前向きな意見や、公共バスへの乗り継ぎのため、りそな銀行東青梅支店付近に降車地点を追加で設けてほしい、こういった意見が寄せられています。

今後につきましては、これらの意見を伺った上で、まず、本年度残り5日の運転・運行を安全かつ確実に実施いたします。

次年度につきましては、学校からの意見で、通年での試験運行を継続するほうが良いということもございました。また、荒天時の対応や、降車場所の増設などを中心に、成木小学校、第七中学校と協議を進めていき、よりよい運行形態を確立していきたいと考えております。

報告は、以上となります。

【教育長（橋本）】 説明が終わりました。御質疑等ございましたら、お願いいたします。

【委員（原島）】 子どもたちがお世話になっている観点からお伝えさせていただきます。スクールバスの利用は私の子どもはしていないのですが、保護者から、この運行がとてもありがたいという声があります。中学生に関しては、下校時間が部活動の時間で異なるので、利用人数的には少なめかなと思います。このバスがあるというところで、この学校を選ぶ保護者もいるのではないかというのを感じていますので、引き続きよろしくをお願いいたします。

【委員（百合）】 原島委員と同じような意見なのですが、以前に第七中学校の校長先生も、利用する人が少なくても、バスがあることを望んでいる人や生徒がいるということを知っていましたので、試験運行を経て、本格実施されるようになるというのを聞いていますので、どうぞよろしくお願いいたします。

【委員（徳長）】 これって利用登録をしないと乗れないってことですか。

【学務課長（山田）】 事前に、おおよその人数を把握するために利用したい方を募っているということがございます。

【委員（徳長）】 現状ですと、利用人数が少ないかなという気がするのですが、当日利用したいという子に関しては、学校に申し出て利用できるようにすると、もう少し増えると思います。

【学務課長（山田）】 学校からも利便性は高めたほうが良いという御意見がありますので、参考にさせていただいて、引き続き検討させていただきます。

【教育長（橋本）】 ほかにいかがでしょうか。

2月19日、今日までの利用人数が入っているということでもいいのですか。

【学務課長（山田）】 今日の分も見込みではありますが、加えさせていただいております。

【教育長（橋本）】 3人が34日あれば、延べ100日ぐらいになるのだけど、延べ14人の利用しかないという理由は何かあるのでしょうか。

【学務課長（山田）】 御家族が迎えにいったら、そのまま塾に送るとか、時間的な都合で乗ったり乗らなかったり、毎回確実に乗るということでもないというお話を伺っております。

【教育長（橋本）】 降車場所の新設についての検討はされていますか。

【学務課長（山田）】 現在、小学生が、りそな銀行付近を降車場所で使っているところもありますので、バス会社との調整でお認めいただければ、実現の可能性はあるというふうに考えております。

【教育長（橋本）】 ありがとうございます。

ほか、よろしいでしょうか。

5 青梅市指定管理者選定委員会の協議結果について（文化課）

【教育長（橋本）】 それでは次に、教育長報告事項の5、青梅市指定管理者選定委員会の協議結果について説明をいたします。

【文化課長（北村）】 それでは、報告資料5の青梅市指定管理者選定委員会の協議結果についてを御覧いただきたいと思います。

本件は、青梅市吉川英治記念館の指定管理期間が令和7年3月末をもって終了することから、指定管理者の公募を行ったものでございます。

1の指定管理期間につきましては、記載のとおり令和7年4月1日から令和12年3月31日までの5年間でございます。

2の公募経過でございますが、令和6年9月に公募を行いました。応募がなかったため、令和6年12月に再度公募を行いました。

募集要領の公表は、令和6年12月1日から12月25日まで行いまして、12月10日に現地見学会を開催し、1団体の参加がございました。

その後、12月20日から25日まで、申請を受け付け、1団体からの申請がありました。申請団体は、現指定管理者であります株式会社フクシ・エンタープライズでございます。

3の選定経過につきましては、申請団体は、募集要領に記載した選定方法および選定の基準（青梅市公の施設の指定管理者の指定の手續等に関する条例第4条の規定による）を承知の上、事業計画等を作成し申請を行っております。

また、申請に当たり提出された企画提案書や事業計画書等にもとづき、公の施設ごとに設置した専門部会が調査、検討を行いました。

専門部会による調査、検討は、企画提案書や事業計画書等の確認審査、ヒアリング審査を行いまして、選定の基準に示された項目ごとに採点・評価を行いました。

令和7年1月21日に開催した本委員会では、専門部会からの調査、検討結果等の報告を受けた後、質疑および審査を行いまして、指定管理者の候補者の選定を行いました。

最後に、4の選定結果につきましては、(1) 選定団体を株式会社フクシ・エンタープライズとし、(2) 選定理由といたしましては、指定管理者として、当該施設の状況を十分把握し、管理ノウハウを有している。また、類似施設の管理運営を行っており、安定した施設管理や来館者の増加および経費節減による収益性の確保も期待でき、当該施設の魅力を発信する能力が備わってい

る。これらにより、安定的な運営が期待できるものと判断し、本施設の指定管理者の候補者として選定するに相当である法人と認められるためであります。

青梅市吉川英治記念館の指定管理者の指定につきましては、2月定例議会で議案を上程し、福祉文教委員会での審議を経て、議決をいただいた後、協定書の締結を行う予定であります。

説明は、以上であります。

【教育長（橋本）】 説明は終わりました。御質疑等ございましたら、お願いいたします。

【委員（徳長）】 応募が1者しかないというのは、何でなのだろうかというのが一つあります。そこで決まってしまうというのと、どこに問題があるかというのはよく分からないですけれども、募集要件なのか、市から出している条件が厳しいから、応募してくるのが1者しかないのか、それとも、そもそもこういった会社自体があまりないのか、でも、他市でもやっていますから、全くないわけではないのですが、何でこの1者なのだろうかというのが気になりました。その辺のところってわかりますか。

【文化課長（北村）】 具体的な理由として断定はできませんが、募集要領や仕様書に対応する体制を整えられる事業者がいなかったというのが、一つの理由として考えられるのではないかと考えております。類似施設の管理実績や学芸員の有資格者、あとは同等の知見を有する者の配置などという仕様書の条件に合致する事業者がいなかったものというのが、一つの理由として推定されるのかと考えております。

【委員（杉本）】 伺いたいのですが、この資格というのは、今おっしゃられたような学芸員の資格を持っていないといけないとか、そういう決まり事があるのですが、そういうのを有しながら、この建物を違う利用方法で使うということは可能なのですか。

例えばですけれど、ミシュランの星がついているレストランに改装してみるとか、そうするともっと有効利用でき、多くの方に記念館も見ただけ。そういうような発想がないと、応募しようという方たちに届いていかないというか、今の状態をキープして、定期的にイベントを開催すればそれでいいということだと、何にも変わっていかないし、応募者も増えていかないし、ずっと同じ指定管理者が続いていくような形になっていくような気がするのです。

今、レストランというのは特異な例ですけれど、そういうような使い方ということとか、そういう発想をしていくことっていうのも、今の明星大学もそうですけれど、その場に応じた対応をしていくスタンスが必要かなって、1者しかいないって現状をみて感じたので、以上です。

【教育長（橋本）】 建物の活用はどうですか。

【文化課長（北村）】 当初、吉川英治記念館を運営していた財団から、青梅市に寄贈するに当たりまして、吉川英治の功績を顕彰することを目的の一つとしているとともに、地域の交流の場として地元の方に知っていただけるというのも、もう一つの目的として、吉川英治記念館を寄贈されておりますので、まずはその2つの柱が重要かと考えております。

一方で、委員おっしゃるように、違う視点での利用ができないかといった声も、地元の声としてありますので、それについてはもう少し時間をかけていかないといけないというところがござ

います。

見学に来ている方たちのアンケートを拝見しますと、やはり吉川英治が住んでいた建物の空間であったり、お庭をきれいに保存してよかったという、喜んでいただいた声が圧倒的に多いというのも事実であります。

ただ一方で、こういう文化財を広めることができるところでもありますので、今の施設の中でどこまで取り組んでいけるのかというところも考えていきたいと思っております。

【教育長（橋本）】 よろしいでしょうか。ほかにいかがでしょうか。

確かに、文化財も単なる保存から活用をとというような時代に移っていますので、ただいまの御意見を伺いながら、よりよい、人に来ていただけるような運営を心がけていただければと思います。

先ほども文化課長からありましたけども、これ議会案件でございますので、御注意いただきたいと存じます。

6 沢井市民センタープールの休場について（スポーツ推進課）

【教育長（橋本）】 それでは次に、教育長報告事項の6、沢井市民センタープールの休場について説明をいたします。

【スポーツ推進課長（中村）】 それでは報告事項の6、沢井市民センタープールの休場についてでございます。

報告資料6を御覧ください。

1の現状について、(1)の市民センタープールの概要につきましては、先日、教育委員の皆様にも現地を視察していただきましたが、平成8年7月に開場した施設でございます、25メートルプール、監視室を擁しております。

建物の3階部分の屋上部分に整備されておまして、2階は沢井市民センタープールの多目的室、1階は下水道施設のポンプ所となっております。

(2)の設備の状況につきましては、ろ過機能の低下、プール槽の塗膜およびプールサイドの床シートの剥がれ、劣化に伴う階下への水漏れのおそれなどが生じております。

(3)の令和6年度の利用人数につきましては、40日間の開場で2,061人、1日平均で約52人でありました。東原公園水泳場およびわかぐさ公園こどもプール等と比較すると少ない状況にあります。

このような状況を踏まえまして、2の休場の理由についてでございますが、市民センタープールは、平成8年の開場から28年が経過しており、開場以来大規模修繕を実施していないため、設備の劣化が著しい状況にあります。

指定管理者からは、衛生面の確保や安全な運営が困難であるとの意見をいただいております。

また、利用人数も少なく、修繕に係る経費も高額など、財政状況が厳しい中、費用対効果が低い施設であります。

このような理由により、大変残念ではありますが、令和7年度から休場とするものであります。説明は、以上でございます。

【教育長（橋本）】 説明は終わりました。御質疑等ございましたら、お願いいたします。

【委員（徳長）】 閉鎖じゃなくて休場なのですか。休場というと、今後どうするのかというのが気になって、閉鎖であれば今後の活用だとか、どういう検討しているのかっていうのが気になります。

【スポーツ推進課長（中村）】 施設については、休場ということで取り扱わせていただくのですが、以前市内にごさいましたプールを閉鎖した際も、まずは休場という扱いをしまして、その後タイミングを見て閉鎖というような形の段階を取っている経緯がございましたので、今回このような取扱いとさせていただきたいのですが、再開ということはなかなか現状では厳しいというふうに考えています。

【委員（徳長）】 そうすると、使えなくなった場合、この後どうするのかというのを検討していかなくてはいけないと思うのですが、いろんな考え方がありますので、例えば市民からも意見を聞くとか、そういうのも何かに活用する。壊すにしても下に部屋とかありますから難しいと思うのですが、ぜひ検討していただきたいと思います。

【スポーツ推進課長（中村）】 確かに建物の構造上、壊すことはなかなか難しい施設ですので、現状では下に水漏れ等がないように、最低限の補修等をしていきながら様子を見て、意見が地域からあるようであれば、参考にしていきます。

【委員（百合）】 うちの子どもが小学生のときは、ここのプールは空いていると言って、新町から自転車に乗って何度かお世話になったことがあって、多分この休場は、ゆくゆくは閉鎖につながっていくのだと思うのですが、子どもたちはたくさん人がいるプールも楽しいとは思いますが、こういった穴場みたいなプールも喜んで行くと思うので、またどこかで何かチャンスがあるのであれば、小規模なプールのままでいいので、再開していただけたらなと、難しいと思いますけど、願っています。

【教育長（橋本）】 ありがとうございます。

ほかにかがでしょうか。

【委員（杉本）】 前もお話ししたと思うのですが、沢井のプールがなくなるのであれば、第五小学校か第六小学校のプールを代替えとして、使用していない時期は管理者にお願いして運営していただくことはできないでしょうか。

この地域の子どもたちは川で遊ぶなど言われながら、泳ぐ場所は与えられないというような、さっきも申し上げた「こどもまんなか」というのからずれてしまって、大人の都合で奪ってしまっている感じがしてしまうので、できれば「こどもまんなか」ということであれば、小学校の使っていない時期のプールを代わりに開放するというようなことも、御検討いただければなというふうに思います。

以上です。

【教育長（橋本）】 ありがとうございます。

【スポーツ推進課長（中村）】 いただいた意見を参考とさせていただきまして、学校にプールがあるのは事実でございますので、夏季休暇等で、外部の方の出入りがあるとセキュリティー上の課題もあるのかなとは思っているところではありますが、そういった声が大きいようであれば、検討したいと思います。

【委員（杉本）】 よろしくをお願いします。

【教育長（橋本）】 ありがとうございます。

ほかによろしいでしょうか。

7 諸報告

(1) 委員会等会議録

ア 青梅市社会教育委員会会議録（社会教育課）

イ 青梅市スポーツ振興審議会会議録（スポーツ推進課）

(2) 事業等の実施予定について

生涯学習事業実施予定について（社会教育課・文化課）

(3) 事業等の実施結果について

生涯学習事業実施結果について（社会教育課・文化課・スポーツ推進課）

【教育長（橋本）】 それでは次に、教育長報告事項の7、諸報告でございますが、あらかじめ委員の皆様にはお目を通していただいております。

この際、御質疑等がございましたら、お願いをいたします。特によろしいでしょうか。

日程第4 協議事項

1 令和7年度青梅市教育委員会の教育目標および基本方針（案）について（学校教育部・生涯学習部）

【教育長（橋本）】 それでは、よろしければ、次に、日程第4、協議事項に移りたいと思います。

協議事項の1を議題といたします。令和7年度青梅市教育委員会の教育目標および基本方針（案）について説明をいたします。

【教育総務課長（芥川）】 それでは、協議事項の1、令和7年度青梅市教育委員会の教育目標および基本方針について御説明を申し上げます。

協議資料1を御覧ください。

毎年、この時期に次年度の青梅市教育委員会の教育目標および基本方針を定めさせていただきまして、その後、この基本方針をもとに教育委員会の教育施策を、次回の教育委員会において御協議いただき、4月に青梅市教育委員会の教育施策の概要として冊子にまとめ、それをもとに新年度の教育施策を実施するという形を取っております。

それでは、説明に移ります。

初めに1ページ、青梅市教育委員会の教育目標でございますが、令和7年度におきましても、引き続きお示しをしました内容を教育目標にしたいと考えてございます。

次の2ページ、令和7年度青梅市教育委員会基本方針（案）でございます。

この2ページから11ページにかけまして、改訂後の本文を記載しておりますが、この基本方針につきましては、委員の皆様事前に改訂案を御確認いただきまして、いただいた御意見等を可能な限り反映させていただいた中で、今回お示しをさせていただいております。

それでは、令和6年度からの変更箇所を中心に御説明をさせていただきますが、資料の13ページからの新旧対照表を御覧いただければと存じます。

現行、令和6年度が右側、改正後の令和7年度が左側という形になってございます。表中の変更点であります、太字、下線、網かけの部分が修正をした箇所でございます。

なお、細かな文言の修正等は説明を省略させていただく箇所もありますので、御了承をお願いします。

初めに14ページになります。

表の右側に、「一人一人」と表記してある箇所が2か所ほどございますが、これ以降含めて、表の左側のおり「一人ひとり」と、2回目の「ひとり」を平仮名表記に統一をさせていただいております。

また、中段4、「社会に貢献できる個人の育成」でございますが、当初案では削除をして、他の項目に合わせての記載予定でございましたが、委員から残したほうがよいとの御意見により、そのまま継続とすることとしてございます。

次、15ページを御覧ください。

1の学力の向上と、2の個を伸ばす指導の充実でございますが、一人1台端末などICT機器等の活用については、新年度では1、学力の向上にまとめて記載をした形にしてございます。

次に下段、左側では2、健康の保持・増進、体力向上につきましては、中段に学校医や学校、医師会との連携について追記をしております。

次に、1ページ飛びまして、17ページを御覧ください。

左側でいうと7、教育相談機能の充実につきましては、内容的には大きく変更してございませんが、現状に合わせた文言の整理を行っております。

次に一番下、左側では10の小規模特別認定校制度の継続でございますが、昨年度までは右側のおり、「学校規模適正化の推進」としておりましたが、学校規模適正化については、後に記載があります学校施設の再編で、現在、学校施設のあり方審議会で規模適正化等を含めた審議を行っていることから、本項からは削除しまして、昨年度では前段、小規模特認校の継続についての記載としているところでございます。

次に、18ページを御覧ください。

基本方針3の1、生涯学習の推進から、3の青少年の体験活動の充実から、次のページ、4、

家庭教育への支援の各項目につきましても、それぞれ現状に合わせた文言の整理を行っております。

同じページの7、図書館事業の推進につきましては、電子書籍の導入や図書館システムの更新について、新たに追記をしているところでございます。

その下の8、文化複合施設等の整備につきましても、現状に合わせた文言整理となっております。

次に、20ページでございます。

基本方針の4から2、誰もが楽しむことができるスポーツの普及につきましては、パラスポーツのほか新たにeスポーツについても記載をしたところでございます。

次に4、魅力的なスポーツ施設の整備につきましては、来年度から新たに開場するスポーツ施設、青梅エクストリームスポーツパークについて追記をしたところでございます。

次の21ページを御覧ください。

基本方針の5から一番下の4、文化施設の環境整備につきましては、教育委員からの御意見により、ホームページ等による情報発信や収蔵品管理システムの導入とソフト面の充実について新たに記載をしたところでございます。

また、吉川英治記念館につきましては、次のページの5、吉川英治記念館の運営として、美術館、博物館とは別の記載としたところでございます。

続きまして、23ページを御覧ください。

4、安全・安心な学校づくりの推進では、予算の重点事項としておりました始業前の児童の見守り事業について、校長へのアンケート等を実施した結果、事業の詳細についてはさらに検討が必要となりましたことから、事業の実施に向けた検討を継続していくこととして記載をしております。

次の5、学校給食の充実につきましては、新学校給食センター建設工事の進捗に合わせた文言の整理とともに、学校給食費無償化に伴いまして、徴収、管理等についての文言は削除をしております。

続いて、24ページを御覧ください。

10、学校施設の再編および環境の整備と、11、教育委員会機能の充実、それから次のページ、12、市長部局の連携についても、それぞれ現状に合わせた文言の整理を行っております。

大変雑駁ですが、説明は以上でございますが、本件御承認いただけましたら、この後、令和7年度青梅市教育委員会の基本方針について議案として提出をさせていただきます、御決定いただく予定としてございます。

以上、よろしく御協議の上、御承認賜りますようお願いを申し上げます。

【教育長（橋本）】 説明は終わりました。御質疑等ございましたら、お願いいたします。特によろしいでしょうか。

【教育長（橋本）】 それでは、協議事項でございますので、お諮りをいたします。本件を承認

することに御異議ございませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

【教育長(橋本)】 御異議ないものと認めます。よって、令和7年度青梅市教育委員会の教育目標および基本方針(案)については承認されました。

2 青梅市教育委員会事案決定規程の一部改正について(教育総務課)

【教育長(橋本)】 次に、協議事項の2を議題といたします。青梅市教育委員会事案決定規程の一部改正についてを説明いたします。

【教育総務課長(芥川)】 それでは、協議事項の2、青梅市教育委員会事案決定規程の一部改正について御説明を申し上げます。

協議資料の2を御覧ください。

初めに、1の改正の理由ですが、令和6年度から青梅市民体育大会の名称を青梅市民スポーツ大会に改めたことに伴い、所要の規定の整備を行おうとするものであります。

2、改正の内容ですが、表に記載のとおり、個別決定事案のうち、スポーツ振興に関する事項の項目、別表第2について、「青梅市民体育大会」を「青梅市民スポーツ大会」に改めるものでございます。

3の施行期日は、令和7年2月、日にちは空欄となっておりますが、規程の施行期日は公表の日とされておりまして、公表は今年27日を予定しているところでございますが、事務処理等不確定要素がございますので、本日は空欄とさせていただきます。

その後の新旧対照表は、御覧いただければと存じます。

説明は以上でございますが、本件の御承認をいただけましたら、この後、議案として提出させていただきます、御決定でいただく予定でございます。

よろしく御協議の上、御承認賜りますようお願い申し上げます。

【教育長(橋本)】 説明は終わりました。御質疑等ございましたら、お願いいたします。特によろしいでしょうか。

【教育長(橋本)】 それでは、お諮りをいたします。本件を承認することに御異議ございませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

【教育長(橋本)】 御異議ないものと認めます。よって、青梅市教育委員会事案決定規程の一部改正については承認されました。

3 青梅市体育施設条例の一部を改正する条例の一部の施行期日を定める規則について(スポーツ推進課)

【教育長(橋本)】 次に、協議事項の3を議題といたします。青梅市体育施設条例の一部を改正する条例の一部の施行期日を定める規則についてを説明いたします。

【スポーツ推進課長（中村）】 それでは、協議事項の3、青梅市体育施設条例の一部を改正する条例の一部の施行期日を定める規則について御説明申し上げます。

協議資料3を御覧ください。

この件につきましては、今年度の第2回教育委員会定例会の協議事項において、青梅市体育施設条例の一部改正に関する諮問について御説明をさせていただき、御承認をいただきました青梅エクストリームスポーツパークの設置に係る内容でございます。

1の制定の理由につきましては、青梅市体育施設条例の一部を改正する条例附則第1項ただし書に規定する規定の施行期日を定めようとするものであります。

2の制定の内容につきましては、青梅市体育施設条例の一部を改正する条例附則第1項ただし書に規定する規定の施行期日は、令和7年4月27日とするものであります。

3の施行期日につきましては、公布の日とするものであります。

条例改正時点で、青梅エクストリームスポーツパークのオープン時期が決まっていなかったことから、条例附則第1項ただし書きにおいて、青梅エクストリームスポーツパークに係る施行期日は、公布の日から記算して1年を超えない範囲において、規則で定める日から施行すると定められました。

これを踏まえまして、ここでオープン日が決まりましたので、青梅エクストリームスポーツパークに係る改正規定を令和7年4月27日から施行するものであります。

なお、準備行為については、供用開始前においても行うことができると定めております。

説明は以上でございますが、本件を御承認いただけましたら、この後、議案として提出させていただきます、御検討いただくものでございます。よろしく御協議の上、御承認賜りますようお願い申し上げます。

【教育長（橋本）】 説明が終わりました。実際に動き出す日というようなことで御理解いただければと思います。

御質疑等ございましたら、お願いいたします。よろしいですか。

再確認ですけど、プレオープンとかそういったものは、先ほどの説明で支障はないということですね。

【スポーツ推進課長（中村）】 準備行為に該当しているものと捉えています。

【教育長（橋本）】 分かりました。

ほかにはないようですので、それではお諮りをいたします。本件を承認することに御異議ございませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

【教育長（橋本）】 御異議ないものと認めます。よって、青梅市体育施設条例の一部を改正する条例の一部の施行期日を定める規則については承認されました。

4 青梅市スポーツ施設条例施行規則の一部を改正する規則について（スポーツ推進課）

【教育長（橋本）】 次に、協議事項の4を議題といたします。青梅市スポーツ施設条例施行規則の一部を改正する規則について説明をいたします。

【スポーツ推進課長（中村）】 それでは、協議事項の4、青梅市スポーツ施設条例施行規則の一部を改正する規則について説明申し上げます。

協議資料4を御覧ください。

この件につきましても、協議事項3と同様、青梅エクストリームスポーツパークに関する内容でございます。

1の改正の理由につきましては、青梅エクストリームスポーツパークの供用開始に伴い、所要の規定の整備を行おうとするものでございます。

2の改正の内容につきましては、(1)スポーツ施設に青梅エクストリームスポーツパークを加え、次のとおり当該施設に係る規定を加えるものであります。

アといたしまして、第3条の2、利用者登録関係といたしまして、青梅エクストリームスポーツパークを使用しようとする者は、利用者登録の申請をし、登録証の交付を受けなければならないことを定めております。

イの第4条、使用の承認関係といたしまして、前記アの登録証の交付を受けた者は、使用の当日に当該登録証を提示した上で、利用券を購入することにより、使用の承認を受けたものとみなすことといたします。

ウ、第5条、使用承認書の交付関係といたしまして、青梅エクストリームスポーツパークを使用する場合の使用承認書の交付は、前記イの利用券をもってこれに代えるものといたします。

エの別表関係といたしまして、休日および使用時間について、(ア)、(イ)のとおり定めるものであります。

年間を通し、基本となる休場日および使用時間については、条例において定めておきまして、今回の条例施行規則の改正では、平日の取扱いを定めているものでございます。

アの休場日は、月曜日、火曜日および木曜日と定めておきまして、開場日を水曜日、金曜日、土曜日、日曜日とするものでございます。

なお、祝日は休場日から除くと定めております。

イの使用時間は、平日は午後1時から午後4時までとなります。土曜日、日曜日、祝日は午前10時から午後4時まで、夏季期間は午後6時までと定めております。

(2)のその他所要の規定の整備を行うものでございます。

3の施行期日等につきましては、(1)施行期日は令和7年4月27日であります。

(2)経過措置として、改正前の様式による用紙の取扱いに関し、必要な経過措置を置くこととしております。

(3)関係規則の一部改正につきまして、青梅市施設予約管理システムの運用および利用者登録に関する規則について所要の規定の整備を行います。

説明は以上でございます。本件を御承認いただけましたら、この後、議案として提出させていただきます。

ただき、御決定いただく予定でございます。

よろしく御協議の上、御承認賜りますようお願い申し上げます。

【教育長（橋本）】 説明が終わりました。エクストリームスポーツパーク、実際に稼働させるために必要な改正というようなことでございます。

御質疑等ございましたら、お願いいたします。よろしいでしょうか。

【教育長（橋本）】 それでは、お諮りいたします。本件を承認することに御異議ございませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

【教育長（橋本）】 御異議ないものと認めます。よって、青梅市スポーツ施設条例施行規則の一部を改正する規則については承認されました。

5 青梅市教育委員会附属機関の委員等に対する感謝状被贈呈者の決定について（スポーツ推進課）

【教育長（橋本）】 次に、協議事項の5を議題といたします。青梅市教育委員会附属機関の委員等に対する感謝状被贈呈者の決定について説明をいたします。

【スポーツ推進課長（中村）】 それでは、協議事項の5、青梅市教育委員会附属機関の委員等に対する感謝状被贈呈者の決定について御説明申し上げ行います。

協議資料の5を御覧ください。

この件につきましては、青梅市教育委員会附属機関の委員等に対する感謝状贈呈実施基準の第2項第5号被贈呈者の資格要件、その他5年以上その職にあつて委員会が必要と認める団体および個人の規定にもとづき、資料の事実調書を踏まえ、同基準第6項第2号被贈呈者の決定、教育委員会において活動歴、地域社会に対する貢献度等を総合的に審査し、被贈呈者としての可否決定を行うものとするとの規定にもとづくものでございます。

事実調書の内容についてですが、団体名は青梅市カヌー協会、職名は会長、氏名は藤野強であります。

退任理由は、会長改選のため、役職の経歴は平成16年4月1日から令和5年3月31日までであります。

本来であれば、会長退任後、速やかに手続を行うところではありますが、藤野氏におかれましては病気を患い、回復を目指しておりましたが、先月お亡くなりになりました。そのような事情によりこの時期となりましたことを御承知おきください。

顕著な活動歴等の内容についてでございますが、藤野氏は、青梅市カヌー協会の会長として、20年間にわたり青梅市におけるカヌー競技の中心的な役割を担っていただきました。

この間、ジュニア世代の指導・育成にも尽力され、市内から何人ものオリンピック強化指定選手等を輩出しされました。

また、このほか平成25年に開催した第68回国民体育大会のカヌー競技においては、事前の準備、

各種調整、大会の運営など先頭に立ち、大会の成功に導いたその功績は誠に顕著でありました。

青梅市カヌー協会会長として活動する傍ら、日本カヌー連盟常務理事、競技運営部長等の重責を担うなど、カヌー競技全体の発展と指導者として後進の育成に尽力されました。

青梅市カヌー協会会長在任中、青梅市スポーツ協会からの要請により、青梅市スポーツ協会副会長に就任し、カヌー競技を中心とした青梅市のスポーツ振興に貢献されました。

なお、この件について決定をいただいた際は、御家族と調整し、贈呈をさせていただく予定でございます。

大変雑駁ですが、説明は以上となります。

よろしく御協力の上、御承認賜りますようお願い申し上げます。

【教育長（橋本）】 説明が終わりました。御質疑等ございましたら、お願いいたします。よろしいでしょうか。

【教育長（橋本）】 それでは、お諮りをいたします。本件を承認することに御異議ございませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

【教育長（橋本）】 御異議ないものと認めます。よって、青梅市教育委員会附属機関の委員等に対する感謝状被贈呈者の決定については承認をされました。

余談ですけど、日本選手権10連覇、それでオリンピックに2回出ておりまして、友田小学校の業務職員でありました。

日程第5 議案審議

議案第28号 令和7年度青梅市教育委員会の基本方針について

議案第29号 青梅市教育委員会事案決定規程の一部改正について

議案第30号 青梅市体育施設条例の一部を改正する条例の一部の施行期日を定める規則について

議案第31号 青梅市スポーツ施設条例施行規則の一部を改正する規則について

【教育長（橋本）】 次に、先ほど協議事項の1から協議事項の4までの4件が承認されたことに伴い、議案が4件追加されるとのことであります。

つきましては、本日の日程に「議案第28号 令和7年度青梅市教育委員会の基本方針について」、「議案第29号 青梅市教育委員会事案決定規程の一部改正について」、「議案第30号 青梅市体育施設条例の一部を改正する条例の一部の施行期日を定める規則について」および「議案第31号 青梅市スポーツ施設条例施行規則の一部を改正する規則について」を追加したいと思います。御異議ございませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

【教育長（橋本）】 御異議ないものと認めます。よって、本日の日程に議案第28号から議案第31号を追加いたします。

議案書を配付いたします。

議案第28号 令和7年度青梅市教育委員会の基本方針について

【教育長（橋本）】 議案第28号を議題といたします。令和7年度青梅市教育委員会の基本方針についてを説明いたします。

【教育総務課長（芥川）】 それでは、「議案第28号 令和7年度青梅市教育委員会の基本方針について」御説明を申し上げます。

本案は、先ほど協議資料1にもとづきまして御説明申し上げ、御協議いただき、御承認を賜った方針の決定につきましての議案でございます。

内容等につきましては、先ほど御説明申し上げたとおりでございます。

よろしく御審議の上、御決定賜りますようお願い申し上げます。

【教育長（橋本）】 説明は終わりました。御質疑等ございましたらお願いいたします。よろしいでしょうか。

【教育長（橋本）】 それでは、これより採決いたします。本件を原案どおり決することに御異議ございませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

【教育長（橋本）】 御異議ないものと認めます。よって、「議案第28号 令和7年度青梅市教育委員会の基本方針について」は原案どおり可決されました。

議案第29号 青梅市教育委員会事案決定規程の一部改正について

【教育長（橋本）】 次に、議案第29号を議題といたします。青梅市教育委員会事案決定規程の一部改正について説明をいたします。

【教育総務課長（芥川）】 それでは、「議案第29号 青梅市教育委員会事案決定規程の一部改正について」御説明申し上げます。

本案は、先ほど協議資料2にもとづきまして御説明申し上げ、御協議いただき、御承認を賜った規程の一部改正につきましての議案でございます。

内容等につきましては、先ほど御説明申し上げたとおりでございます。

よろしく御審議の上、御決定賜りますようお願い申し上げます。

【教育長（橋本）】 説明は終わりました。御質疑等ございましたらお願いをいたします。よろしいでしょうか。

【教育長（橋本）】 それでは、採決いたします。本件を原案どおり決することに御異議ございませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

【教育長（橋本）】 御異議ないものと認めます。よって、「議案第29号 青梅市教育委員会事案決定規程の一部改正について」は原案どおり可決されました。

議案第30号 青梅市体育施設条例の一部を改正する条例の一部の施行期日を定める規則 について

【教育長（橋本）】 次に、議案第30号を議題といたします。青梅市体育施設条例の一部を改正する条例の一部の施行期日を定める規則について説明をいたします。

【スポーツ推進課長（中村）】 それでは、「議案第30号 青梅市体育施設条例の一部を改正する条例の一部の施行期日を定める規則について」御説明いただきます。

本案は、先ほど協議資料にもとづきまして御説明申し上げ、御協議いただき、御承認を賜った規則につきましての議案でございます。

内容等につきましては、先ほど御説明申し上げたとおりでございます。

よろしく御審議の上、御決定を賜りますようお願い申し上げます。

【教育長（橋本）】 説明は終わりました。御質疑等ございましたら、お願いいたします。よろしいでしょうか。

【教育長（橋本）】 それでは、採決いたします。本件を原案どおり決することに御異議ございませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

【教育長（橋本）】 御異議ないものと認めます。「議案第30号 青梅市体育施設条例の一部を改正する条例の一部の施行期日を定める規則について」は原案どおり可決されました。

議案第31号 青梅市スポーツ施設条例施行規則の一部を改正する規則について

【教育長（橋本）】 次に、議案第31号を議題といたします。青梅市スポーツ施設条例施行規則の一部を改正する規則について説明をいたします。

【スポーツ推進課長（中村）】 それでは、「議案第31号 青梅市スポーツ施設条例施行規則の一部を改正する規則について」御説明申し上げます。

本案は、先ほど協議資料4にもとづきまして御説明申し上げ、御協議いただき、御承認を賜った規則の一部改正につきましての議案でございます。

内容等につきましては、先ほど御説明申し上げたとおりでございます。

よろしく御審議の上、御決定を賜りますようお願い申し上げます。

【教育長（橋本）】 説明が終わりました。御質疑等ございましたらお願いいたします。よろしいでしょうか。

【教育長（橋本）】 それでは、これより採決いたします。本件を原案どおり決することに御異議ございませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

【教育長（橋本）】 御異議ないものと認めます。よって、「議案第31号 青梅市スポーツ施設条例施行規則の一部を改正する規則について」は原案どおり可決されました。

【教育長（橋本）】 以上で、予定された案件については全て終了いたしました。
事務局から、何かありますか。よろしいですか。

【教育長（橋本）】 それでは、今後の日程について、教育総務課長から説明をいたします。

【教育総務課長（芥川）】 それでは、今後の予定でございます。

2月28日金曜日に、東京都市町村教育委員会連合会の令和6年度第2回研修会が東京自治会館で開催されます。時間、講師、テーマ等は記載のとおりでございます。

続いて3月8日土曜日、教育委員会児童・生徒表彰式、9時30分から市役所2階の204・205・206会議室で開催されます。

続いて3月19日水曜日、中学校の卒業式、同じく22日土曜日、東小・中学校の卒業式、24日月曜日は小学校の卒業式でございます。

最後、3月26日水曜日、第14回教育委員会定例会、午後1時30分から、教育委員会会議室で予定してございます。

今後の予定は、以上でございます。

日程第6 教育長閉議および閉会宣言

【教育長（橋本）】 以上で、本日の日程は全て終了いたしましたので、これをもちまして閉会といたします。大変お疲れさまでした。

午後3時14分閉会

青梅市教育委員会会議規則第26条の規定により、ここに署名する。

青梅市教育委員会教育長

青梅市教育委員会委員